

職場での人間関係の築き方

～キャリア&ライフ～ 小野 幸子 氏

須坂市産業連携開発課では須坂公共職業安定所の共催を得て、5月25日（水）に須坂公共職業安定所磯貝所長の挨拶のあと、統括職業指導官 山口昌利氏から「現在の求人の状況と、就職に向けた心構え」についてお話をいただきました。続いて、長野市のキャリア&ライフの小野幸子氏から「職場での人間関係の築き方」について、参加者の皆さんのワークを交えてお話をいただきました。効果的な話し方を通して人間関係を築くには、相手の立場になる事、肯定的に話す事、決めつけて話さない事等、自他を尊重する自己表現が、解り合える人間関係を築くのに大切なことを話してくださいました。



事業主が採用したいと思う人は？



会社が人を採用しようと思った時に、どんな人を採用したいと思っているのでしょうか。会社は営利企業ですので、会社にどのような形で貢献してくれるかという事です。会社は採用した人の労働に対して賃金を支払わなければならないのですから、採用した以上は会社には貢献してくれるかどうか大切なポイントです。それをどのように見極めるかは大変難しい事ではありますが、基本的に明るく元気があり、仕事をやるという気概の感じられる人が採用になるものと思います。それは履歴書や職務経歴書、そして面接時の服装や態度そして言葉に見て取れます。面接してもらう会社で、自分の能力でどのような形で会社には貢献出来るかを表現できれば、採用の確率は高いと思います。

12年目を迎えた就業支援センター

≡ゆめわーく須坂≡

須坂市就業支援センター（ゆめわーく須坂）は、平成17年5月2日に産声を上げてから12年目に入りました。この11年間に1,000名に近い皆様にご利用いただきました。雇用形態が多様化している今の時代に、多くの方が様々な悩みを抱えています。会社での人間関係や労働条件、派遣や期間雇用等、不安定な雇用形態に、将来の夢を描けずに落ち込んでしまう方など、一人一人がそれぞれに重い問題を抱えて困惑している姿を目の当たりにしてきました。しかし、一人で悩まないで人に話をすることによって、心の中に一筋の灯りを見出した方もおられます。第一土曜日（1月と5月は第二土曜日）に休日就業相談も行っていますので、ご相談をしていただけたらと思います。



就業支援センター News! 夏号

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 28 年 9 月 42 号

ときに長野に働くしない？

≡東京の大学生が職場見学≡



長野地域 UJI ターン促進事業の一つとして、去る 8 月 18 日、19 日の 2 日間、東京の大学生が北信の市町村の職場を見学し、地方都市での就職で人生を豊かに生きる可能性を発信していました。参加した学生が北信地域の会社や工場を見学し、その結果を記事にして編集し発表するという企画で、テレビ信州が密着取材を行い放映されました。須坂市ではオリオン機械(株)を見学し、女性も活躍でき、人を大切にする会社という印象を持ったようです。このイベントに参加した 14 名（1 名は長野地域出身）は、長野地域に興味を持ったようです。地方都市で学生の能力が、花開くことを期待したいと思います。

長野県の最低賃金は770円です。

～平成 28 年 10 月 1 日から適用～

長野地方最低賃金審議会の答申を受け、長野労働局長が長野県の最低賃金を 10 月 1 日から 770 円に決定しました。最低賃金制度は働く人全てに賃金の最低額を保証する制度です。正社員、契約社員、パート、アルバイト、嘱託など雇用形態の呼び名に関わらず、全ての労働者と使用者に適用されます。従って、仕事を探している皆さんは、時間給の最低が 10 月 1 日から 770 円になりますので、求人票を確かめて応募してください。なお、危険が伴ったりする仕事に従事する場合は、もう少し時間給は高くなりますので、詳細は職業安定所にお尋ねください。



平成 28 年度後半の休日就業相談日です。

10 月から 3 月までの休日就業相談日

10 月 1 日（土） 11 月 5 日（土）

12 月 3 日（土） 1 月 14 日（土）

2 月 4 日（土） 3 月 4 日（土）

026-246-3501

（事前に予約をお願いします）

ゆめわーく須坂はお仕事などで平日に相談が難しい皆さんに、毎月第一土曜日の午後に休日就業相談を行っています。平成 28 年度後半の相談日程は左記のとおりです。1 月はお正月でもありますので、相談日を第二土曜にいたしました。現在、在職中だが転職を考えている方、職場の労働条件や人間関係で人には話せない悩みをお持ち方など、どんなことでも良いのでお話しに来てください。

就業支援センター News!

秋号

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 28 年 11 月 43 号

やりがいを感じて働けるかな…

≡ 市内高校 2 年生の職場見学 ≡

「ゆめわーく須坂」では、毎年須坂市内 3 高等学校 2 年生を対象に職場見学を行っています。今年は 11 月 8 日（火）に 5 つのグループに分かれて、10 社の事業所を見させていただきました。高校 2 年生ですので概ね高卒で働きたい方を対象に行ったのですが、卒業迄にまだ 1 年半位の時間があるので、将来の進路選択の参考にしてほしいと思いました。先輩の若い社員の方のお話を伺い、具体的に働くという事の意味を考えることのできた見学だったと思います。最近は身近な人の働く姿さえ目の当たりにする機会が少ないので、良い経験になったと思います。



～ひんのベパーティー～ みんなで“ひんのべ”を作って食べましょう。



11 月に初雪を観測した今年の冬ですが、寒い冬に向う季節の前に、「ゆめわーく須坂」と「まいさぼ須坂」が“みんなで楽しむ会”と銘打って、“ひんのべ”を皆で作リ、体を動かすゲームを楽しみ、最後に皆で作った“ひんのべ”を食べようという会を企画しました。特に何のためにやるかという、堅苦しいお題目はないのですが、初めて会った人と仲良くなって、同じものを作って食べるという、単に楽しむ会です。どなたでも結構ですので、12 月 10 日の土曜日に時間がありましたら、お友達を誘って参加してみませんか。時間は午前 10 時から午後 2 時まで、須坂市第一勤労者研修センターで行います。定員は 10 名となっています。参加無料です。

耐性を鍛えましょう。

☆☆☆ ステップアップのために ☆☆☆

最近は世の中の流れが速くなり、昔の諺にあった「石の上にも 3 年」という言葉が死語になりつつあると感じています。若い人が仕事に就いても、短い期間で退職してしまうというお話を数多く聞きます。一概に転職が悪いと言う事ではありませんが、何かの資格や経験を持たないで転職を繰り返すと、必ずと言っていいほど労働条件が悪くなっていきます。一方、資格を持って経験を活かしての転職は賃金が上がったり、条件の良い地位で会社に迎え入れられたりして、ステップアップにつながっていきます。今も昔も会社が抱える問題に大差はないと思いますが、働く私たちにも耐性という物を備えていく必要があると思います。



就業支援センター News! 冬号

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 29 年 2 月 44 号

スタートは少しでも早い方がいい? ～将来をどう生きるか～



この 12 年間多くの皆様のお話を伺う中で、強く感じる事は、自分の将来をどう生きるかについて、少しでも早く考えた方がよいと感じます。人はこの世に生を受けた時から、その人の人生はその人の物だと思えます。周りは本人の将来や自分の事を考えて、こうすべきとかああすべきとか意見を言いたくなりますが、たとえ親といえども子供の生き方に口を差し挟む事は避けるべきだと思います。小さい時から多くの体験をさせ、長所や短所、得手・不得手を確認し、何をしたいかを決める事は早い方がよいと思います。早ければ進路変更が容易にできます。

現代は多くの事を画像の中で見ることができますが、それでは不十分だと思います。何事も体験することをお勧めします。

郷土料理の“ひんのべ”に舌鼓を打ちました。 ≡ひんのべパーティ≡

昨年 12 月 10 日の土曜日に、須坂市第一勤労者研修センターで、「まいさぼ須坂」と合同で“みんなで楽しむ会”を行いました。参加して下さった方々と「まいさぼ須坂」「ゆめわーく須坂」のスタッフが“ひんのべ”を作り、囲碁ボールに興じました。それぞれ初対面ではありましたが、ひんのべを作ったり、ゲームを楽しむことは年齢や立場を越えて、親睦を図る事ができたと思います。昨今、人との繋がりが希薄になっていると感じますが、協力し合って同じ作業を行い、その結果を享受する経験は、それぞれの間にある垣根取り払う事のできる大切な事だと思います。機会があれば多くの皆さんに経験していただきたいです。そうすれば今まで感じた事のない満足感を味わう事ができると思います。



そうだ「ゆめわーく須坂」に相談に行こう!

休日就業相談日

4月1日	5月13日
6月3日	7月1日
8月5日	9月2日

電話番号

026-246-3501

(事前に予約をお願いします。)

「現在仕事に就いてはいるが、会社の中で人間関係や労働条件に疑問を感じている。しかし、どこに話を持って行っていいかわからない。」と思っておられる方は多いのだと思います。そのような方々が気軽に話ができるように、「ゆめわーく須坂」は第一土曜日の午後に就業相談を行っています。どんな些細な事でもお話を伺いますので、お気軽にご連絡をください。事前に予約をしていただけたら、お待たせすることなく相談いただけます。

就業支援センター News! 春号

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 29 年 5 月 45 号

心の健康の作り方

～レジリエンストレーニング～

須坂公共職業安定所管内の有効求人倍率は、今年の 3 月まで連続 22 カ月 1 倍を超えています。数年前と比較すると求人数が多くなっていますので、仕事探しやす状況にはあります。

しかし、全ての人が就職しやすくなった訳ではなく、様々な理由で仕事が見つからず、悩んでいる方も少なくありません。

就職活動をやっているが、中々採用に至らず心が折れてしまいそうになって、精神的にダメージを受けている人も多いと思います。このような皆さんに「心の健康の作り方」と題しまして、キャリア&ライフ代表の小野幸子先生の講演を予定しています。5 月 31 日（水）午後 2 時から 4 時まで須坂駅前シルキービルでセミナーを行いますので、是非参加してみてください。



就職してから「あれ、何か違う？」と思わないために。



大変な就職戦線を勝ち抜いてやっと採用通知をもらい、これで仕事ができると一息つく前に、事業主との雇用条件について確認をする事が大切です。勤務する前に労働契約書を作成し、どのような条件で働くかという事を労使がそれぞれ確認し、その上で署名捺印が必要になります。更に事業主から労働条件通知書というものを提示され、労働契約書よりさらに詳細な働く場合の取決めがあります。

ゆめわーく須坂やハローワーク等の求人票の内容と違うようでしたら、その事について確認する必要があります。

ブラック企業と言われる事業所の中には、求人票に記された条件とは違う事を提示してくることがありますので、どのような条件で仕事をするのかは必ず確認してください。

志望動機って、どう書いたらいいの？

求職活動の中で誰もが考え込んでしまうのが、応募する会社の志望動機です。なぜ、就職先としてその会社を選んだのかという事を、しっかりと先方に伝えなければなりません。そのためには先ず自分という人間の棚卸をし、自分にはどんな特徴があり、何を得意としているかを分析する必要があります。その上で自分の能力は、面接を受ける会社で十分発揮できることをアピールする事が大切です。仕事を求める人としては賃金や休日等、求職者としての条件も大切ではありますが、会社も自社に貢献してくれる人を求めています。そのあたりを考慮して志望動機を考える事が大事だと思います。



就業支援センター News!

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 29 年 9 月 46 号

地方にもこんな素晴らしい会社が… (東京の大学生の企業見学ツアー)



(須坂市の㈱サンジュニアを見学)

平成 29 年 8 月 22 日～23 日に東京都内の大学に在学する 1 年生から 3 年生の学生を対象に、若年者地域連携推進センターの主催で、長野地域の企業見学ツアーを行いました。8 名の大学生が参加して、5 つの会社を見学しました。主催する側の目的は、都会の大学で学んでいる学生に、地方にも優れた会社がそれぞれの特徴を活かし、社会に貢献していることを知ってもらい、活躍の場を広げて貰う狙いがありました。

大学生の皆さんの感想は概ね好評で、地方企業の中にも世界に進出している会社があり、今後の活動の場として広い視野を持つことが必要だとの感想を寄せていました。大学生の仕事の場が都会に集中している状況ですが、地方にも広がってほしいと感じました。

自分って人からどう見られているのかな？

就職活動の初めに、まずしなければならない事が自己分析です。自分の事を過信して、するべき努力を怠ってはいないでしょうか。自分の事をよく知る家族や友人から、率直な意見を聞く事が必要だと思います。自分の言動に対してもっとこうしてほしいとか、何か要求はないか、聞いてみる事は大切な事だと思います。そして自分の考えていた自分と、他人の考えていた自分を照らし合わせ、自分のイメージを修正する必要があります。その上で自分の長所を活かした仕事はどういうものなのかを知り、仕事を選ぶことができれば、仕事を途中でリタイアする確率は非常に少なくなると思います。



平成 29 年度後半の休日就業相談日です。

休日就業相談日

10 月 7 日 (土)	11 月 4 日 (土)
12 月 2 日 (土)	1 月 13 日 (土)
2 月 3 日 (土)	3 月 3 日 (土)

TEL 026-246-3501

平成 29 年度後半の休日就業相談に日程です。

「ゆめわーく須坂」では毎月第一土曜日の午後 1 時から 5 時 15 分まで、就業相談を受け付けています。

なお 1 月の休日相談は、第二土曜日の午後とさせていただきます。仕事はしているが、職場での労働条件や人間関係で悩んでいるなどの問題を抱えておられる方は、1 人で悩まないで話をしてみてもいいかがでしょうか。個人情報厳守しますので、お気軽にお出かけください。

就業支援センター News! 秋号

須坂市産業振興部
産業連携開発課
須坂市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 29 年 11 月 47 号

こんな会社で仕事がしてみたいな… (須坂市内高校 2 年生の職場見学)



須坂市就業支援センター主催で、須坂市内の高校 2 年生を対象にした職場見学が 10 月 30 日に行われました。市内の企業 10 社が協力をしてくださり、110 名の高校生が 5 コースに分かれて見学をしました。ほとんどの高校生は卒業後、就職を希望しているので、会社の雰囲気や就職して間もない先輩の話に真剣に耳を傾けていました。具体的にどこの会社に入社したいという事はまだ決めていませんが、挨拶やコミュニケーション、人間関係の良さは仕事をする上でとても大切な事と感じたようです。高校卒業まではまだ約 1 年半ありますので、この職場見学を参考にして社会人として、良いスタートを切ってほしいと願っています。

失敗から得られるものもある。≡転んでもタダ起きない≡

多くの相談を受けていますと、本音でお話をしてくださる方が多いのですが、その中で何度も面接試験を失敗したというお話を伺います。誰でも失敗したという経験を持ちますと、次の一歩が踏み出せないで立ち止まってしまう。その気持ちはよく理解できます。でも、視点を替えてみれば修正する点が見つかったという事になります。転んでもタダ起きるのではなく、どこでミスをしたか、どう話をすれば相手は理解して貰えたかを振り返る事ができます。従って、失敗の数が多いほど、学べるものも多く自分の目標に確実に近づいているものと思います。そして、就職も人生の一つの通過点に過ぎません。落ち込むのではなく、自分で一生懸命やった事に自信を持ちましょう。



就職に挨拶とコミュニケーション能力は不可欠です。～職場見学～



10 月に行われた須坂市内の高校 2 年生を対象にした職場見学で、どこの会社も口を揃えておっしゃることが、「挨拶とコミュニケーション能力」です。確かに仕事とは多くの皆さんとの協力の上に完成するものです。従って、挨拶ができない、人と話すのが苦手という事では、意志の疎通が図られず、良い仕事ができないのは尤もな事です。上手に話すとか人に褒められるように話す必要はなく、仕事上で、思っていることを伝えられれば良いのです。こんなこと言ったら人に笑われないとか、人は変に思うかもしれないという憶測は捨てて、人との繋がりを大切にしましょう。

就業支援センター News! 冬号

須崎市産業振興部
産業連携開発課
須崎市就業支援センター
☎ 026-246-3501
FAX 026-246-3489
平成 30 年 2 月 48 号

雇用状況は堅調に推移している。(ゆめわーくサポートネットワーク会議)

去る 1 月 16 日に平成 29 年度第 2 回目のゆめわーくサポートネットワーク会議がシルキー3 階で開かれました。最近の雇用を取り巻く情勢は、経済の好調な動きを背景に、有効求人倍率も須坂公共職業安定所管内では 11 月末現在 1.83 倍と好調に推移している事が報告されました。

この 3 月に卒業する高校生の就職内定率も 11 月末現在、北信地区では 88.9%の生徒が内定しているとの事でした。一方で職場見学のアンケートの中で、生徒の稚拙さを感じられ、社会人として仕事を持って働く事の意義を理解し、職業人としての意識を育てる事も大切との事でした。



「不採用」は一つの通過点で、ゴールではない。



何回かの不採用を経験した覚えのある方は多いと思います。ただ、このような不名誉(?)な情報は他人に発信しないため、職安などでいつも会う人に会わなくなると、あの人は採用になって仕事をしているのだと、どこか羨ましくなるものです。しかし、不採用という事は自分を否定されたものではないので、あまり深刻に考えなくても良いのです。仕事を探している人にとって合格を戴く事は、一つの目標ではありますが、相手のあることですから思うようにはいきません。従って、不採用は合格への一つの通過点と捉え、不採用になっても次の就職試験で改良すべき事柄を見つければ良いのです。そして、就職もゴールではなく、ここから仕事に対するパフォーマンスを展開し、自分の真価を認めて貰える努力をする事が大切だと思います。

働くって素晴らしい!

学校を卒業し仕事に就いて社会人として踏み出した頃は、働く事が素晴らしいと感じた方は少ないのだと思います。社会人 1 年生としてマナーやコミュニケーション、会社組織の構造、しいては自分のやっている事が社会のどの部分で役立っているのかなど、疑問が次から次に湧いてくるものです。しかし、ある人が自分は車の部品を製造しているが、自分の製造した部品が無いと車は動かないのだと、自分の子供に誇りを持って話してあげていると聞きました。働く事は生きていく為の糧を得る手段ではありますが、一方で社会の中で立派に役に立っていると、胸を張って子供に話せる親は素晴らしいと思いました。このような話を子供に伝えていきたいものです。

